

# 社協だより

2024年度版 鷹栖町限定！

## 募金付バッチ決定！



私たちが  
デザイン  
しました



あったかすな心の輪が  
広がりますように・・・

「鷹栖らしさ溢れるバッチ」をテーマに、鷹栖町のゆるキャラ「あったかすくん」と特産品をデザインしました。

# 令和5年度 事業報告

『第2期鷹栖町地域福祉実践計画』に基づいた、事業推進の4年目が終了しました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類相当から令和5年5月8日より5類感染症へと移行になりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が収束したわけではなく、感染予防対策に取り組みつつ、今まで休止・縮小していた事業を改善し再開することができました。

## 事業概要

令和5年度は、本会事業の根幹である見守り活動の更なる進展に向け重点的に取り組みました。福祉委員が中心となって要援護者の調査をし、孤立しがちな方に対して定期的な見守り活動を展開していますが、町内会未加入者や訪問拒否など繋がりを求めない町民も存在し、万が一何か起きた時に誰も気付かない状況下にありました。

また、今までは健康な方に対する見守り活動を積極的に行ってきませんでした。健康であっても突然死されることもあり、それが3週間程度誰にも気付かれないという痛ましい事故も起きたことから、65歳以上で1人暮らしされている方に対して誰かが必ず1ヶ月に1回は見守り活動を行っているという体制づくりに着手しました。

自助・公助・共助の連携による体制づくりに努め、65歳以上で1人暮らしされている方326名中、本会に情報提供することを同意した255名に対しては、毎月1回訪問するふれあい訪問員を本会に配置しました。

福祉委員も定期的に訪問活動を行っていますが、訪問対象者359名中65歳以上で1人暮らしされている方は195名おり、そのうち54名は本会に情報提供することを同意しない方々であり、公的機関の見守り活動は拒否されても住民同士の繋がりを持たれていることが判明しました。令和5年度の見守り活動を精査し、65歳以上で1人暮らしされている方のうち、誰からも見守りされていない方が33名いることが判明しましたので、この方々に対する見守り活動の体制構築に令和6年度着手致します。

見守り活動をとおして、住民のちょっとした変化に気付いたり困りごとを聞く場面が増え、住民によるアウトリーチ、本会職員によるアプローチがより進展しました。相談内容に応じて本会の重層的支援コーディネーターが中心となり、行政との情報共有、専門職との同行訪問、多機関連携によるチームアプローチなど、相談体制づくりに取り組みました。

令和2年度から取り組んでいる高年齢者の就労支援では、令和5年度より全世代型の就労支援及び住民の活躍の場を就労に限定せず、個々の能力や強みを活かした活躍の場(サポーター活動やボランティア活動)づくりへと発展させています。年間184件の相談を受け、働きたいと願う登録者は255名(男性106名、女性149名)を数え、そのうち26名が町内企業と雇用契約を結び働いており、8名がサポーターとしてまちづくりに関わりました。

仕事やサポーター活動などをとおして新たな居場所ができ、介護予防にも繋がりを、社会の中で必要とされることなどを体感して頂きながら住民自身が輝き始めることを目の当たりにし、喜びを感じながら仕事に邁進することが出来ました。令和2年度から推進している『第2期鷹栖町地域福祉実践計画』の推進期間も残すところあと1年となりました。引き続き目標達成に努めるとともに、住民ニーズは常に変化し続けていることから、しっかりとニーズ調査を行い『第3期鷹栖町地域福祉実践計画』の策定に着手して参ります。

## 決算概要

本業による資金収支を示す事業活動資金収支差額は、概ね予算どおり事業を執行することができたため、1,739,323 円の黒字となりました。予算上では、1,615,000 円の黒字を見込んでおり、ほぼ差異なく事業執行できました。

その他の活動資金収支差額では、令和4年度から嘱託職員退職制度を導入したことにより固定支出が増え、1,056,351 円の赤字となっておりますが、予算上でも、1,214,000 円の赤字を見込んでいましたので、ほぼ差異なく事業執行できました。

令和5年度収支決算は、経営上の資金収支を示す資金収支計算書の当期資金収支差額より 682,972 円の黒字(前年度 807,144 円 前年比 85%)となり、財政改革を始めた平成28年度より8期連続黒字で安定した経営を続けております。

# 令和5年度 決算報告

## 貸借対照表(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

資産の部		負債の部	
科目	合計	科目	合計
<b>流動資産</b>	11,316,014	<b>流動負債</b>	2,528,514
- 預貯金	8,680,194	- 未払費用	910,841
- 未収金	2,194,087	- 未返還金	794,013
- 未収補助金	301,000	- 職員預り金	698,273
- 立替金	128,233	- 仮受金	125,387
- 仮払金	12,500	<b>固定負債</b>	10,936,194
<b>固定資産</b>	19,169,815	- 退職給与引当金	9,281,824
基本財産	1,000,000	- 退職給付引当金共済会退職給付引当金	1,654,370
- 定期預金	1,000,000	<b>負債の部合計</b>	13,464,708
その他の固定資産	18,169,815	<b>基本金</b>	1,000,000
- 車両運搬具	1,332,385	<b>基金</b>	6,500,000
- 器具及び備品	3,315,860	- 福祉基金	3,000,000
- 減価償却累計額△	5,412,791	- ノーマライ基金	3,500,000
- ソフトウェア	840,000	<b>国庫補助金等特別積立金</b>	125,712
- 貸付事業貸付金	447,490	- 国庫補助金等特別積立金	125,712
- 退職給付引当資産	9,395,471	<b>その他の積立金</b>	1,579,906
- 退職給付引当資産共済会退職手当預け金	1,741,610	- 山下・神田金庫積立金	1,579,906
- 福祉基金積立資産	3,000,000	<b>次期繰越活動増減差額</b>	7,815,503
- ノーマライ基金積立資産	3,500,000	- 次期繰越活動増減差額	7,815,503
- その他の固定資産	9,790	- (うち当期活動増減差額)	625,562
		<b>純資産の部合計</b>	17,021,121
<b>資産の部合計</b>	30,485,829	<b>負債及び純資産の部合計</b>	30,485,829

## 事業活動計算書(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

収益科目	決算額	費用科目	決算額
会費収益	1,237,000	人件費	32,831,547
寄附金収益	2,127,151	事業費	3,746,400
経常経費補助金収益	9,369,522	事務費	3,574,258
受託金収益	27,742,694	共同募金配分金事業費	2,454,538
事業収益	2,755,635	減価償却費	0
受取利息配当金収益	303	国庫補助金等特別積立金取崩額	0
その他のサービス活動外収益	0	国庫補助金等特別積立金積立額	0
施設整備等補助金収益	0	サービス区分間繰入金費用	2,590,003
サービス区分間繰入金収益	2,590,003	その他の積立金積立額	0
前期繰越活動増減差額	6,964,644		
その他の基金取崩額	225,297		
<b>収益合計</b>	53,012,249	<b>費用合計</b>	45,196,746

[収益合計]

[費用合計]

[次期繰越活動増減差額]

53,012,249 - 45,196,746 = 7,815,503

# 令和6年度 事業計画

## 事業目標

**誰もがつながり、安心、健康で**

**「幸せ」に暮らせる『あったかす』なまちを目指して**

### 1 誰もがつながり支え合いのできるまち

すべての人が何かしらの場面で人とつながり、支え合うことにより「幸せ」が感じられるまちを目指します。

### 2 誰もが安心して暮らすことのできるまち

高齢者、障がい者、子ども・子育て世帯、生活困窮者など、支援を必要とする方も含め、すべての人が安心して生活できるまちを目指します。

### 3 誰もが健康で心豊かに暮らすことのできるまち

すべての人が「からだ」も「こころ」も健康で、自らの知識や技能、得意なコトを活かして地域で心豊かに活躍できる「幸せ」なまちを目指します。

## 事業内容

鷹栖町社会福祉協議会では、『つながり』と『安心』、そして『健康』づくりを推進し、幸せに満ち溢れたまちを住民の団結により作りあげるため、『地域実践TAKASUプロジェクト』を実施します。

地域実践プロジェクト

**T** - つながる - 誰もがつながり  
支え合いのできるまちを作るために

### 1. 課題を早期発見できる体制づくり

- ①福祉委員会事業の推進
- ②見守り団体交流会の開催
- ③ひとり暮らし高齢者宅歳末たすけあい訪問の実施
- ④ふれあい訪問員の配置

### 2. 多様な主体がごちゃまぜになる地域共生社会の推進

- ①中間的就労支援事業(社会参加のきっかけづくり事業)の推進(受託)
- ②手づくりマルシェの開催(受託)
- ③共同募金運動の推進
- ④地域づくりコーディネーターの配置(受託)
- ⑤高齢者向け住宅生きがい活動援助員事業の推進(受託)
- ⑥鷹栖町老人会の運営支援

### 3. 地域福祉を支える人材の掘り起こしと育成

- ① ちょっとだいじょうぶかな?! 食堂の支援
- ② 日常生活自立支援事業の推進(受託)
- ③ 小・中学校と連携した福祉教育の推進
- ④ 車椅子・高齢者擬似体験セット貸出事業の推進

### 4. 時代の流れに合わせた支え合いシステムの構築

- ① 生活支援体制整備事業の推進(受託)
- ② 生活支援コーディネーターの配置(受託)
- ③ 買い物支援事業の推進(受託)
- ④ 集落支援員の配置(受託)

地域実践プロジェクト

# A

- 安心 -

誰もが安心して  
暮らすことのできるまちを作るために

#### 1. 寄り添い続ける相談体制の構築

- ① 生活福祉資金貸付事業の実施(受託)
- ② 山下・神田金庫貸付事業の実施
- ③ 緊急用食糧等給付事業の実施
- ④ 就職面接時整容準備事業の実施
- ⑤ ポータブルトイレ貸出事業の実施
- ⑥ 重層的支援コーディネーターの配置(受託)

#### 2. 切れ目のないチームサポート体制の推進

- ① 生活福祉相談センターと連携した相談支援体制の構築
- ② 社協だよりやSNSを活用した情報発信

#### 3. 災害時における避難体制づくり

- ① 要援護者台帳を活用した見守り及び災害時の支援体制の構築

#### 4. 安心して子育てのできる環境づくり

- ① おうちにサンタがやってくる!の開催
- ② スキーリサイクル事業の推進
- ③ 寺子屋サポート隊の支援
- ④ こども体験教室の開催
- ⑤ 鷹栖高校地域体験活動の実施
- ⑥ 学校運営協議会コーディネーターの配置(受託)

地域実践プロジェクト

# K

- 健康 -

誰もが健康で心豊かに  
暮らすことのできるまちを作るために

#### 1. 多様なニーズに対応した居場所づくり

- ① 生涯現役地域づくり環境整備事業の推進

#### 2. 身体と心が豊かになる健康づくりの推進

- ① ふまねっと教室の開催支援

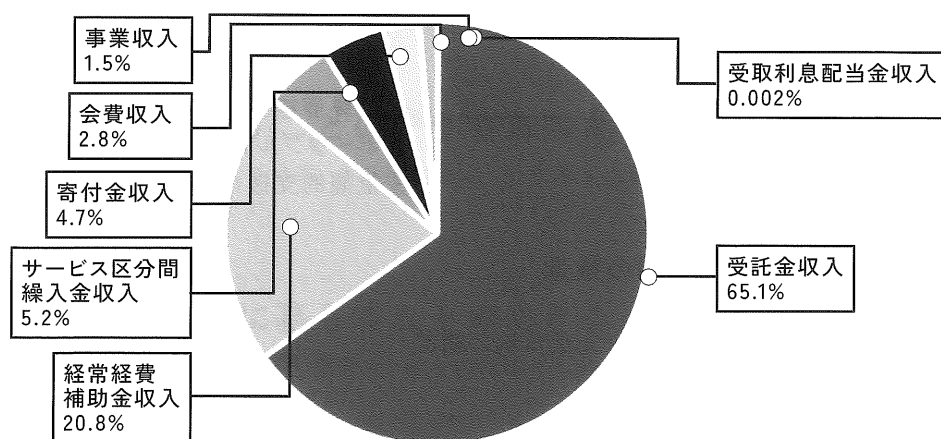
#### 3. あらゆる人が役割を持ち暮らせる環境づくり

- ① あったかステーション事業の推進

# 令和6年度 予算

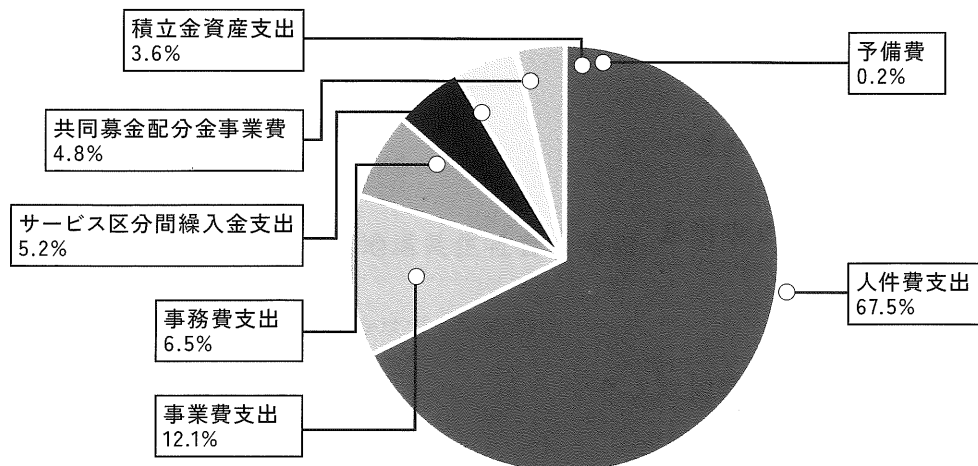
(単位：千円)

科目	合計額	サービス区分		
		法人運営事業	受託事業	共同募金事業
収入				
会費収入	1,300	1,300	0	0
寄附金収入	2,200	900	0	1,300
経常経費補助金収入	9,661	8,658	0	1,003
受託金収入	30,273	0	30,273	0
事業収入	647	387	260	0
受取利息配当金収入	1	1	0	0
サービス区分間繰入金収入	2,423	2,423	0	0
合計	46,505	13,669	30,533	2,303

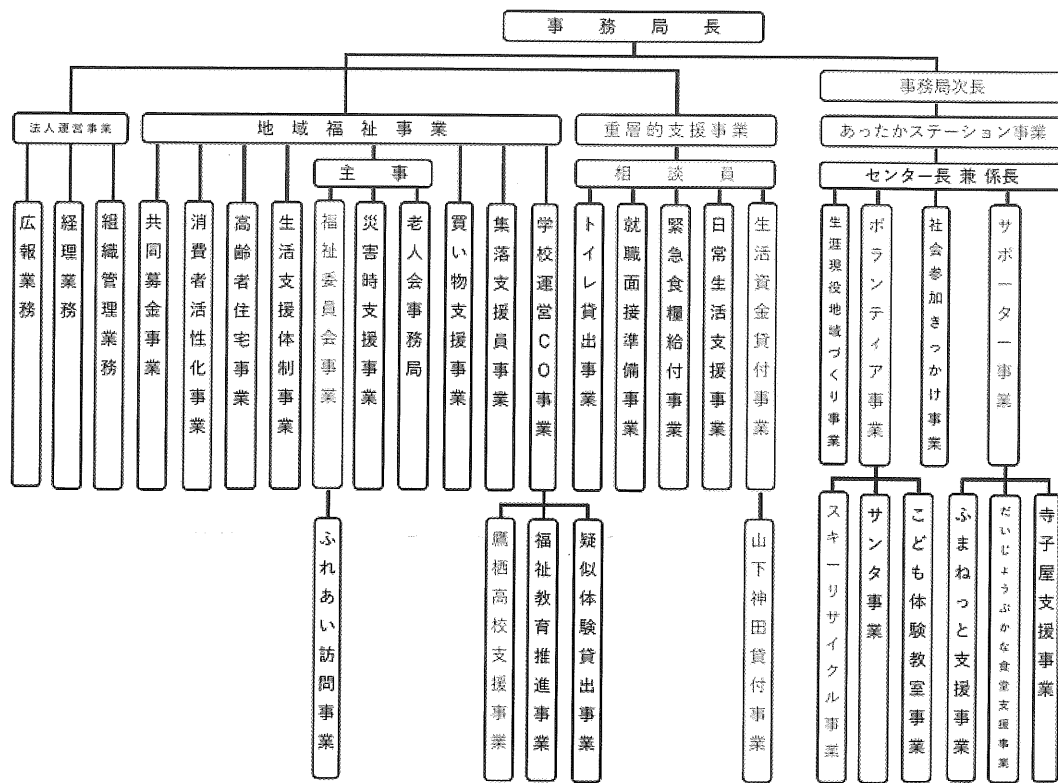


(単位：千円)

科目	合計額	サービス区分		
		法人運営事業	受託事業	共同募金事業
支出				
人件費支出	31,379	7,780	23,599	0
事業費支出	5,646	2,345	3,271	30
事務費支出	3,023	2,738	257	28
共同募金配分金事業費	2,235	0	0	2,235
積立金資産支出	1,693	806	887	0
サービス区分間繰入金支出	2,423	0	2,423	0
予備費	106	0	96	10
合計	46,505	13,669	30,533	2,303



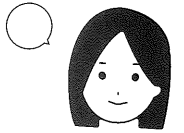
# 令和6年度 鷹栖町社会福祉協議会 機構図



## 組織図

<b>事務局</b>	
事務局長 兼 地域づくりコーディネーター 兼 学校運営協議会コーディネーター 兼 生活支援コーディネーター 兼 鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業統括員	梅澤 美幸(正職員)
事務局次長 兼 鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業推進員	立田 睦実(出向職員)
係長 兼 ボランティアコーディネーター 兼 あったかステーション センター長 兼 鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業推進員	山本 沙織(正職員)
主事	佐々木 来佐子(正職員)
経理事務嘱託	阿部 美紀子(嘱託職員)
相談員 兼 重層的支援コーディネーター 兼 学校運営協議会コーディネーター	萩原 寧昭(嘱託職員)
おしごと案内人 兼 鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業推進支援員	深川 美樹(嘱託職員)
嘱託 兼 鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業推進支援員	秋本 樹仁也(嘱託職員)
経理事務臨時 兼 鷹栖町生涯現役地域づくり環境整備推進協議会 事業推進補助員	青木 陽子(臨時職員)
生きがい活動援助員	林 亜矢子(臨時職員)
生きがい活動援助員	渡鍋 千晶(臨時職員)
生きがい活動援助員	小玉 真由美(臨時職員)
ふれあい訪問員	齊藤 俊夫(臨時職員)
ふれあい訪問員	吉村 千映子(臨時職員)

# 編集室のつづき



かつお



のぞみ



もえ

Petrichor(ペトリコール)株式会社で「社協だより」の紙面構成をさせていただくようになって、4年目に入りました。鷹栖の会社ではありませんが、まだまだ鷹栖歴の浅い私たちに、住民のみなさんの目に触れるお仕事をいただけていること、今も嬉しく思っています。

20代・30代の私たちにとって、『福祉』というものは少し縁遠く、難しいイメージがありました。ですが、実際にお話しを聞いて、データやいただいた資料ひとつひとつに目を通していくと、実はとても身近なことで、難しいことも間口が狭いこともまったくないことがわかりました。私たちが感じた「やさしさ」や「温かさ」の想いも乗せて、多くの方に福祉を、社協を、身近に感じてもらえるような紙面づくりを心がけています。本当に手前味噌ですが、若い世代の方からも、「社協だより」を読むようになったよ！とお声がけいただくことが増え、私たちが紙面作

成をする意義も少しあったかなと感じています。

ここからは制作の裏話です。当然のことですが、紙面のきれいなさと読みやすさを心がけて毎号制作しています。しかしながら、以前は初稿の段階で、「文字をもっと大きくしてほしい」「見やすいフォントに変えてほしい」ということを言われていました。「全世代へ」という視点をもち意識しなければいけないなど、「ユニバーサルデザイン」についてより考えるきっかけになりました。

また、背表紙のコラムは、実際に私たちが集まって、その号の内容や取材に行った時のことを話して作っています。毎年色々な発見を楽しみに、私たちも制作しています。より住民目線でお話していますので、うしろのコラムから読んで、中身に戻っていただく読み方もおすすめですよ。今年度もよろしくお願います！（かつお）

あたたかいご寄付  
ありがとうございました

令和5年4月1日  
～令和6年3月31日

## 香典返しご寄付

出口 庄司 さん	外川 静子 さん	開澤 則子 さん
稲田 敏彦 さん	平崎 宏 さん	天井 清美 さん
筒井 佐津子 さん	西田 勝枝 さん	大石 智範 さん
長田 良信 さん	古川 美由紀 さん	岡田 和人 さん
一条 慶幸 さん	佐竹 恭教 さん	関 昭一 さん
池本 光夫 さん	久保 昇 さん	石崎 正行 さん
青木 秀晃 さん	片山 一 さん	舟根 和子 さん
膳法 厚子 さん	朝倉 賢治 さん	森脇 謙一郎 さん
前川原 弘子 さん	鈴木 金次郎 さん	山田 博幸 さん

## 社会福祉事業へのご寄付

(株)たかすたろファーム 平林 悠 さん  
 (株)安川測量 安川 義巳 さん  
 澤田 すが子 さん  
 島畑 光信 さん  
 匿名寄付 1件

あたたかいご寄付をありがとうございました。

みなさまの善意の浄財は社会福祉事業に活用させていただきます。改めて厚く御礼申し上げます。